

施 策：	01	計画行政と効率経営の推進	財務コード	01020302-07-00
基本事業：	03	自主財源の確保	担当部	市民生活部
基本事業の 成果指標	収納率（市税） 収納率（使用料及び負担金） 自主財源比率		担当課	収納課
			担当係	収納担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成26年度 ~	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
市税等の滞納者		滞納者が滞納している原因として、収支バランスの崩壊、収入不足、多重債務、各種ローン、事業不振があります。それらの問題を解決することにより、納税に回せる資金を生み出して担税力を確保するとともに、納税意識の高揚を図るために、専門家であるファイナンシャルプランナーへの相談を実施しています。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【相談場所】 市役所内の相談室 【開設時間】 毎月1回 9時～17時（17時以降についても対応） 【相談内容】 収入支出のバランス、多重債務、ローン軽減、資金調達等 【申込方法】 開催前日までに予約（当日、空きがあれば相談可） 【料 金】 無料				
滞納となっている原因が、金銭的な資力等である場合があるため、ファイナンシャルプランナーのアドバイスや指示により、収支の改善等を図った上で、納税資金を確保してもらう。						
4. 成果（簡易評価は未記入）						

成果指標名称	単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
相談件数	件	21	20	40	40			40
相談によって納付された額	千円	7,892	9,047	10,000	10,000			10,000

5. コスト									
事業費	計	千円	648	648	327	660			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	648	648	327	660				
正職員人工数	人工	0.4	0.4	0.4					
正職員人件費	千円	3,198	3,236	3,226					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	3,846	3,884	3,553	660				

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	【状況】 相談件数は、H29年度が21件、H30年度が20件と、前年度と比較し横ばいでした。事業により収納に結びついた金額は、前年比1,155千円増加し9,047千円でした。								
どちらかといえばあがっている	【原因】 件数は伸びていないものの、収納に結びついた金額が前年度より増加しているのは、相談による滞納者の担税力が確保されたことが原因と考えられます。								
あがっていない（停滞・低下）									

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	増加	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	大きい								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）								

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）		備考・特記事項 or 進行管理欄							
滞納者との納税折衝の際に、納税意識はあるものの納税できない原因として、収支バランスの崩壊、体重債務、各種ローン、事業不振などで納税できる資金がないことでした。それらを解決できれば、納税の公平性、税収確保も図ることができるという点から事業を開始しました。									